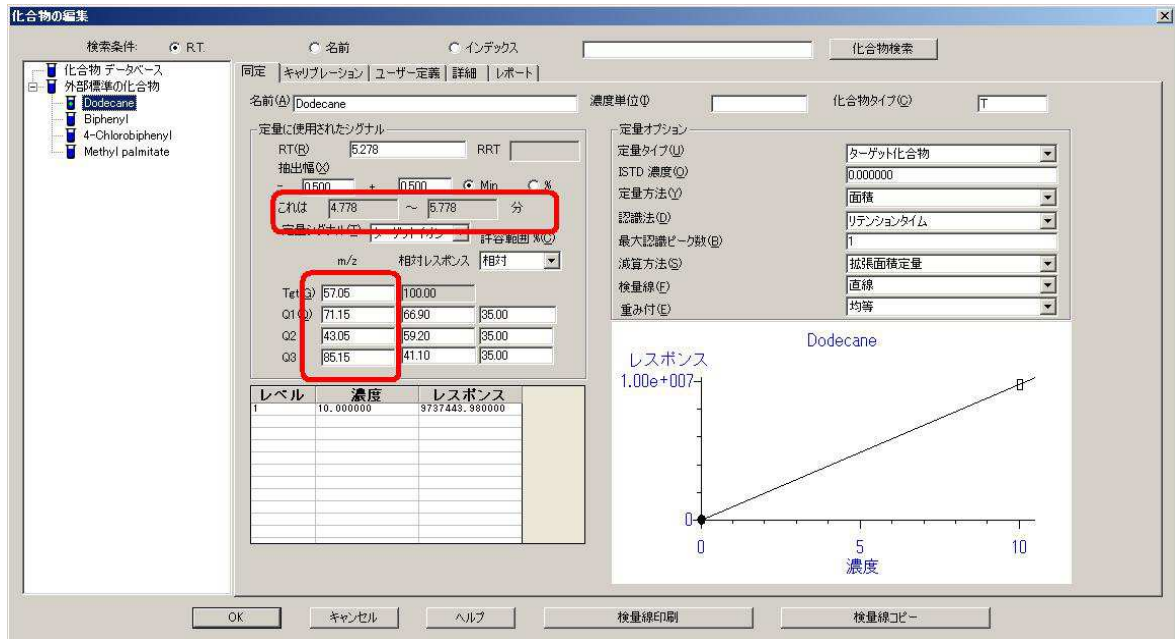


定量データベースの化合物ごとに違うスレシヨルドを設定したい

同じ定量データベース内でも、化合物によりピークの大きさが違う場合があります。このような場合、化合物ごとに最適な積分条件が変わります。一つのメソッドの定量データベース内で化合物ごとに違う積分条件ファイルを指定する方法をご説明します。

1. 「キャリブレーション」メニュー > 「化合物編集、変更したい化合物」を選び、「同定」タブから、下記の情報をメモしてください。



化合物の編集

検索条件: RT 名前 インデックス 化合物検索

同定 | キャリブレーション | ユーザー定義 | 詳細 | レポート

名前(A) Dodecane 濃度単位(D) 化合物タイプ(O)

定量に使用されたシグナル

抽出幅(Q) 0.500 + 0.500 G Min C %

これは 4.778 ~ 5.778 分

m/z	相対レスポンス	許容範囲(M)
Tet(Q) 57.05	100.00	
Q1(Q) 71.15	66.90	35.00
Q2 43.05	69.20	35.00
Q3 85.15	41.10	35.00

レベル	濃度	レスポンス
1	10.000000	9737443.980000

レスポンス

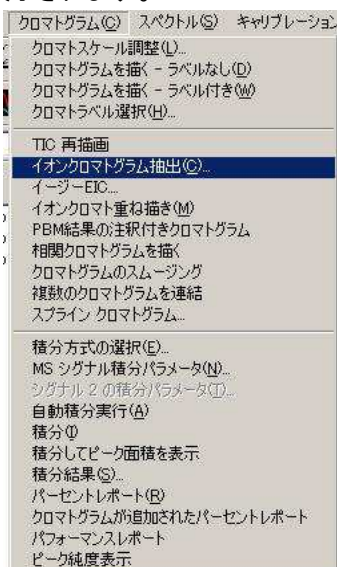
Dodecane

1.00e+007

濃度

OK キャンセル ヘルプ 検量線印刷 検量線コピー

2. 「クロマトグラム」メニュー > 「イオンクロマトグラム抽出」、上記情報を入力しますとイオンクロマトグラムが表示されます。



クロマトグラム(C) スペクトル(S) キャリブレーション

クロマトスケール調整(L)...
 クロマトグラムを描く - ラベルなし(D)
 クロマトグラムを描く - ラベル付き(W)
 クロマトラベル選択(B)...

TIC: 再描画
イオンクロマトグラム抽出(O)...
 イージー-EIC...
 イオンクロマト重ね描き(M)
 PBM結果の注釈付きクロマトグラム
 相関クロマトグラムを描く
 クロマトグラムのスムージング
 複数のクロマトグラムを連結
 スプラインクロマトグラム...

積分方式の選択(E)...
 MS シグナル積分パラメータ(N)...
 シグナル 2 の積分パラメータ(D)...
 自動積分実行(A)
 積分(Q)
 積分してピーク面積を表示
 積分結果(S)...
 パーセントレポート(E)
 クロマトグラムが追加されたパーセントレポート
 パフォーマンスレポート
 ピーク純度表示



イオンクロマトグラム抽出

時間範囲(R): 5.030 ~ (T) 5.778 分

イオン(Q)

1(Q): 57.05	4(Q): 85.15
2(Q): 71.15	5(Q):
3(Q): 43.05	6(Q):

m/z 使用範囲(F) - 0.30 ~ (Q) + 0.70

OK キャンセル ヘルプ(H)

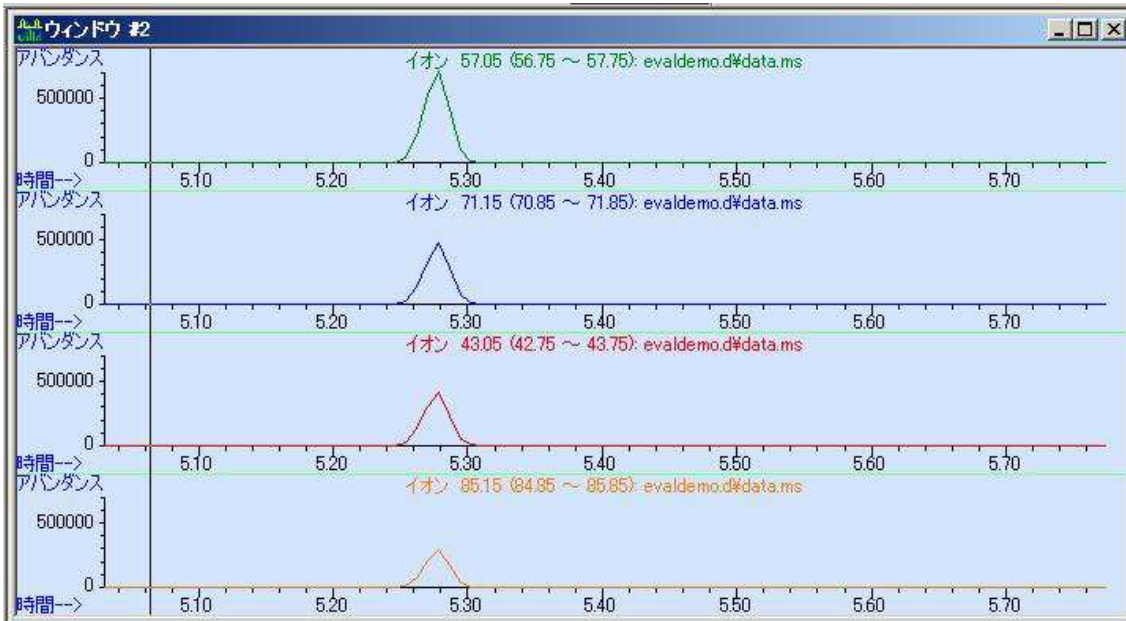
ご不明な点は、カスタムコンタクトセンタまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

E-mail: email_japan@agilent.com

FAX  0120-565-154

<http://www.agilent.com/chem/jp>



3. 「クロマトグラム」メニュー > 「MS シグナル積分パラメーター」、「初期スレッシュホールド」に新しい値を入力し、保存します。

The screenshot shows the '積分条件設定' (Integration Conditions) dialog box. The '初期スレッシュホールド' (Initial Threshold) is set to 150. The '積分イベント名' (Integration Event Name) table is shown below.

積分イベント名	値	時間
初期面積リジェクト	0	初期
初期ピーク幅	0.020	初期
シグナル検出	OFF	初期
初期スレッシュホールド	150	初期

Red annotations in the image indicate the following steps:

- ① Select 'MS シグナル積分パラメーター' in the menu.
- ② Enter the new value '150' for the initial threshold.
- ③ Click the '入力' (Input) button.
- ④ Click the '保存' (Save) button.

The screenshot shows the '保存 events' (Save Events) dialog box. The file path is 'C:\msdchem\#1\METHODS\#test1129.M\#'. The event name 'test_1' is entered in the text field and highlighted with a red box.

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンタまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話 0120-477-111

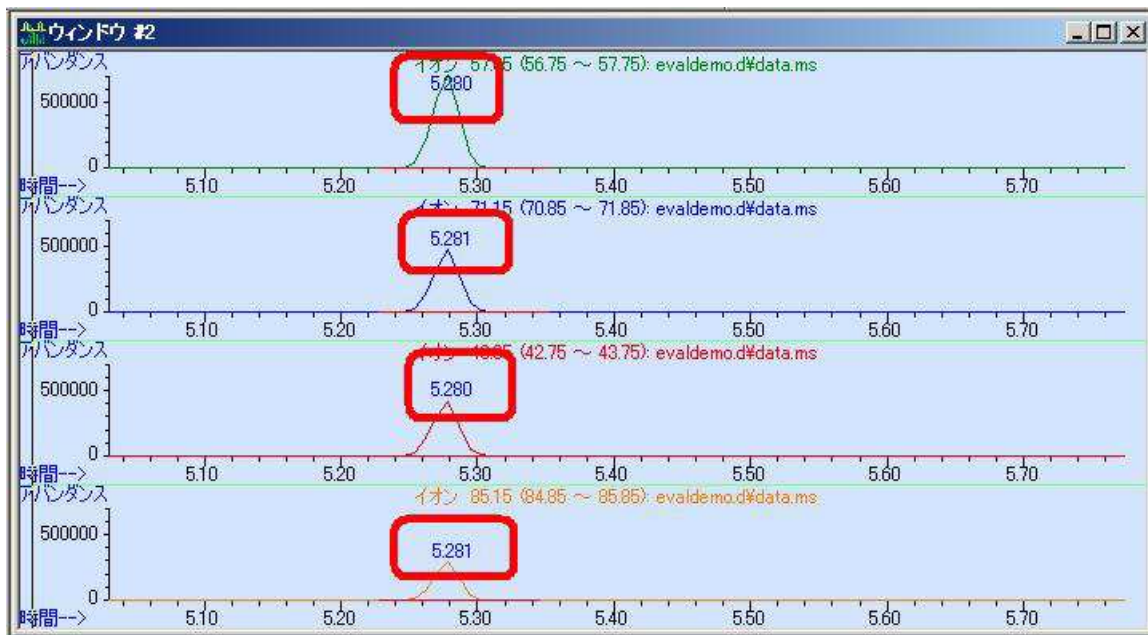
E-mail: email_japan@agilent.com

FAX 0120-565-154

http://www.agilent.com/chem/jp



4. 「クロマトグラム」→「積分」、ピークの頂点にリテンションタイムが表示されて、正しく積分されていることを確認します。



5. 「キャリブレーション」→「化合物編集」、変更したい化合物を選び、「詳細」タブから、参考ボタンを押して、保存した積分イベントファイルを指定します。

6. 以上で定量結果が良好であることを確認ください。

ご不明な点は、カスタムコンタクトセンタまで(電話受付 9:00~12:00、13:00~18:00 土、日、祝日は除きます)

電話  0120-477-111

E-mail: email_japan@agilent.com

FAX  0120-565-154

<http://www.agilent.com/chem/jp>